

税務課 予算書P60 金額1,043千円

目的

市税等の滞納整理において行政機関から金融機関に対して行われる預貯金等の照会は現在も大量かつ多様な書面が残る業務になっている。デジタル処理を前提とした業務へと移行していくことにより、官民双方の負担を大幅に軽減するとともに、迅速かつ適正な行政事務の遂行を達成していく。

内容

○預貯金照会調査のデジタル化

預貯金照会調査と回答をデータの送受信で行うサービスを利用することにより照会にかかる期間を1~2日程度に短縮し、またデータ入力の手間が省けることで事務処理の効率が上がることから、担当者の対応件数を増やすことができ、市税の収納率向上につなげていく。

また、郵送に係る費用の削減とペーパーレス化の促進を図る。